現場レポート

市民国際プラザ

外国人児童生徒教育支援
―宇都宮大学 HANDS 事業―

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター　田巻　松雄（教授）

HANDS が目標とするもの

HANDS という名称で進めてきた外国人児童生徒教育支援事業は、2019 年度で 10 年目を終え、現在 12 年目を迎えています。現在は、宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターの事業として行われています。HANDS はさまざまな関係者が手と手を取り合いながら協力して事業を進めていくという気持ちを込めて付けられた名称です。HANDS の実質的なスタートは、国立大学が法人化された 2004 年度に遡ります。国際学部は議論を重ねた結果、地域のグローバル化に対する地域貢献として、外国人児童生徒教育支援に焦点を当てることとしました。関係者の間では、なによりも外国人児童生徒の普段の就学と高校進学、そして、外国人児童生徒に寄り添う教員を応援したいという気持ちが共有されています。

宇都宮大学 国際学部附属多文化公共圏センター

外国人児童生徒教育推進協議会

栃木県の北から南まで 9 市 2 町の教育委員会と小中学校代表校長および県教育委員会の関係者と開催している会議です。外国人児童生徒教育問題に関する「県内全域を対象とする協働型事業の拠点構築」を目指してきた HANDS にとって、全県的なネットワークである本協議会は貴重な情報・意見交換の場となっています。

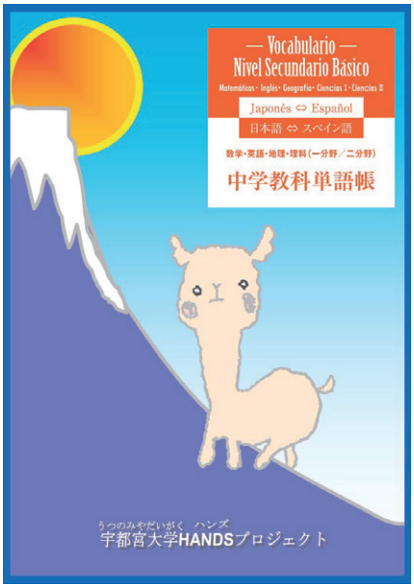
『教員必携　外国につながる子どもの教育』全 3 巻

外国につながる子どもの在籍が多地域に散らばる現象は、「散在化」と呼ばれ、その傾向は全国に広がっています。日本語指導教室が無く、担当教員もいない学校における支援が大きな課題となっています。散在化の進行による少数の外国人児童生徒が在籍する学校での支援の重要性や、経験の浅い教員への How-to 情報の必要性という 2 つの背景を踏まえ、作成されたのが教員向け手引き書『教員必携・外国につながる子どもの教育』です。

神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）に所蔵されている全 3 巻の『教員必携』

『中学教科単語帳』全 6 冊

『中学教科単語帳』は、中学校 5 教科（数学、英語、地理、理解 1 分野と 2 分野）の教科書に頻繁に出てくる単語と理解が難しいと思われる単語約 2,500 語を抽出して解説した学習用語辞典です。タイ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、フィリピン語、ベトナム語の 6 言語版があり、日本語、外国語いずれからも調べられる形となっています。HANDS 専用の HP「だいじょうぶ net.」から全ページダウンロードすることが出来ます。



『中学教科単語張　日本語⇔スペイン語版』

多言語による高校進学ガイダンス

日本の教育制度と高校受検に関する基本情報を 8 言語で伝え、高校受検に関する質問・相談に応えるガイダンスです。2018 年度から下野新聞社が主催する栃木県高等学校進学フェアに合流する形で、ガイダンスを開催するようになりました。2021 年度は、予定していた会場でのガイダンスがコロナ禍の影響で中止を余儀なくされ、1 回だけオンラインで開催しました。ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン語を母語とする生徒や保護者計 13 組が参加しました。「だいじょうぶ net.」には、8 言語のガイダンス資料と動画が公開されています。

2021 年度多言語による高校進学ガイダンス　オンライン開催のチラシ

学生ボランティア派遣事業

学生ボランティア派遣事業は、通年活動として外国人児童生徒在籍校（小学校から高校）で行う個別学習支援と特定の時期に実施する集団学習支援のために宇都宮大学の学生を派遣する事業です。主に国際学部の学生が参加しており、2 つの集団学習支援が定着しています。1 つは、真岡市国際交流協会との協力のもと、AMAUTA（アマウタ）というスペイン語母語保持教室に通うペルー人児童生徒へ夏季休暇中に行われる学習支援です。もう 1 つは、小山市教育委員会との協力のもと、小山学びの教室「かけはし」で 10 月から 3 月まで開催される高校進学を目指す外国人生徒のための学習支援です。

真岡市の AMAUTA（アマウタ）というスペイン語母語保持教室に通うペルー人児童生徒への集団学習支援

『宇都宮大学 HANDS10 年史』の刊行とこれから

HANDS10 年の歩みを振り返った『宇都宮大 HANDS 10 年史』を 2020 年 8 月に刊行しました。HANDS が実に多くのさまざまな立場の人に支えられてきたことを改めて実感しました。今後、日本で滞在する外国人の増加が確実に見込まれる中で、外国人児童生徒への応援はますます重要な課題になっていくでしょう。絶えず「次の一歩へ」を意識しながら進んでいきたいと考えています。

『宇都宮大学 HANDS10 年史』